



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月12日

上場会社名 三菱マテリアル株式会社

上場取引所 東

コード番号 5711 URL <https://www.mmc.co.jp/>

代表者 (役職名) 執行役社長

(氏名) 田中 徹也

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 織田 慎介

TEL 03-5252-5290

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,284,480	13.4	27,379	15.2	61,157	7.6	36,387	26.0
2025年3月期第3四半期	1,483,695	37.2	32,296	109.6	56,847	30.2	49,173	99.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 58,620百万円 (2.0%) 2025年3月期第3四半期 57,462百万円 (7.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	278.47	
2025年3月期第3四半期	376.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,929,210	738,068	24.5
2025年3月期	2,379,409	693,276	28.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 717,031百万円 2025年3月期 677,250百万円

(注) 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		50.00		50.00	100.00
2026年3月期		50.00			
2026年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,760,000	10.3	47,000	26.6	76,000	26.2	20,000	41.3	153.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「2026年3月期第3四半期決算補足説明資料」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	131,489,535 株	2025年3月期	131,489,535 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	810,026 株	2025年3月期	830,439 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	130,669,332 株	2025年3月期3Q	130,651,144 株
------------	---------------	------------	---------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年2月12日(木)に機関投資家向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、四半期決算発表と同時にTDnet及び当社ホームページで開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

①当期業績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、関税政策をはじめとする米国の政策動向の影響等により不透明感が広がるなかで、一部の地域においては景気回復に足踏みがみられるものの、緩やかな持ち直しが続きました。

日本経済は、物価上昇が継続するなかで個人消費マインドの弱含み等がみられましたが、緩やかな回復基調が継続しました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、自動車関連の需要は緩やかな回復が見られたものの、半導体関連の需要はAI関連を除き低調に推移しました。また、前年同期と比べて、銅や金等の価格が上昇した一方で、米国ドルの円高基調、買鉱条件(TC/RC)の悪化による影響がありました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間は、主に金属事業において、前年同期と比べて売上高及び営業利益が減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、連結売上高は1兆2,844億80百万円(前年同期比13.4%減)、連結営業利益は273億79百万円(同15.2%減)となりました。連結経常利益は、鉱山からの受取配当金が増加したことなどから、611億57百万円(同7.6%増)となりました。また、前年同期に計上した持分変動利益の剥落及び減損損失の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は363億87百万円(同26.0%減)となりました。

②セグメントの概況

(金属事業)

(単位：億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(増減率)
売上高	10,950	8,548	△2,402 (△21.9%)
営業利益	223	51	△171 (△77.0%)
経常利益	418	346	△71 (△17.1%)

金属事業は、銅や金等の価格が上昇した一方で、買鉱条件(TC/RC)の悪化や金の生産量の減少等の影響により、前年同期と比べて、売上高及び営業利益は減少しました。このほか、鉱山からの受取配当金の増加及び持分法による投資損益の改善があったものの、経常利益は減少しました。

(高機能製品)

(単位：億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(増減率)
売上高	3,855	4,143	288 (7.5%)
営業利益	24	98	73 (298.1%)
経常利益	8	94	86 (－%)

高機能製品は、銅加工事業において、販売数量が増加したことに加えて、銅価格上昇の影響がありました。また、電子材料事業において、半導体関連製品の一部の需要は緩やかな回復基調が継続しているものの、シール製品の販売が減少しました。

以上により、前年同期と比べて、売上高、営業利益及び経常利益は増加しました。

(加工事業)

(単位：億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減（増減率）
売上高	1,109	1,656	547 (49.3%)
営業利益	68	105	36 (53.1%)
経常利益	67	90	23 (34.8%)

加工事業は、2024年12月にエイチ・シー・スタルク・ホールディングス社を連結子会社化したことにより、前年同期と比べて、売上高は増加しました。また、値上げ効果や超硬製品及びタングステン製品の販売増加等により、営業利益及び経常利益は増加しました。

(再生可能エネルギー事業)

(単位：億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減（増減率）
売上高	63	42	△21 (△33.6%)
営業利益	19	6	△13 (△67.1%)
経常利益又は経常損失（△）	22	△4	△27 (－%)

再生可能エネルギー事業は、2025年4月に発生した落雷により、安比地熱発電所が操業を停止していたことから、前年同期と比べて、売上高及び営業利益は減少しました。これに加えて、持分法による投資利益が減少したことから、経常利益は減少しました。

(その他の事業)

(単位：億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減（増減率）
売上高	1,133	1,014	△118 (△10.5%)
営業利益	39	26	△13 (△33.0%)
経常利益	148	128	△19 (△13.2%)

その他の事業は、合算で、前年同期と比べて、売上高及び営業利益は減少しました。これに加えて、持分法による投資利益が減少したことから、経常利益は減少しました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2兆9,292億円となり、前連結会計年度末比5,498億円増加しました。これは、貸付け金地金及び棚卸資産が増加したことなどによるものであります。

負債の部は2兆1,911億円となり、前連結会計年度末比5,050億円増加しました。これは、預り金地金及び有利子負債が増加したことなどによるものであります。

当社グループは、キャッシュマネジメントシステムの導入等によるグループ各社における余剰資金の一元管理を図り、資金効率の向上に努めております。この一環として、一部の海外子会社を対象としたグローバルキャッシュマネジメントシステム（ノーショナルプーリング）を導入しており、グローバルベースでの更なる資金効率向上にも取り組んでおります。なお、当第3四半期連結会計期間末のノーショナルプーリングにおける預入額560億円を現金及び預金、借入額522億円を短期借入金に含めて表示しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表の「2026年3月期決算補足説明資料」及び「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,605	137,420
受取手形	23,309	29,455
売掛金	171,045	177,436
商品及び製品	151,718	195,501
仕掛品	141,312	195,667
原材料及び貯蔵品	190,399	208,888
貸付け金地金	463,727	731,038
その他	231,718	325,063
貸倒引当金	△530	△570
流動資産合計	1,464,306	1,999,901
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	156,700	153,655
土地（純額）	88,908	88,619
その他（純額）	198,227	205,940
有形固定資産合計	443,836	448,215
無形固定資産		
のれん	23,577	25,553
その他	28,210	27,083
無形固定資産合計	51,788	52,637
投資その他の資産		
投資有価証券	310,772	312,748
その他	108,584	115,761
貸倒引当金	△766	△769
投資その他の資産合計	418,590	427,739
固定資産合計	914,215	928,591
繰延資産		
開業費	887	717
繰延資産合計	887	717
資産合計	2,379,409	2,929,210

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,426	114,528
短期借入金	308,345	346,331
1年内償還予定の社債	—	30,000
コマーシャル・ペーパー	—	80,000
未払法人税等	4,396	5,194
引当金	12,692	9,369
預り金地金	773,036	1,164,623
その他	99,435	107,756
流動負債合計	1,297,333	1,857,804
固定負債		
社債	100,000	70,000
長期借入金	184,753	159,358
環境対策引当金	14,120	13,252
その他の引当金	951	1,002
退職給付に係る負債	41,208	41,714
その他	47,764	48,009
固定負債合計	388,798	333,338
負債合計	1,686,132	2,191,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	119,457	119,457
資本剰余金	81,745	81,745
利益剰余金	379,339	402,706
自己株式	△2,828	△2,777
株主資本合計	577,714	601,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,894	13,595
繰延ヘッジ損益	972	768
土地再評価差額金	15,670	15,646
為替換算調整勘定	57,698	68,540
退職給付に係る調整累計額	17,300	17,347
その他の包括利益累計額合計	99,535	115,899
非支配株主持分	16,026	21,037
純資産合計	693,276	738,068
負債純資産合計	2,379,409	2,929,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,483,695	1,284,480
売上原価	1,353,846	1,158,520
売上総利益	129,849	125,959
販売費及び一般管理費	97,552	98,580
営業利益	32,296	27,379
営業外収益		
受取利息	3,154	2,716
受取配当金	17,783	22,726
持分法による投資利益	13,936	16,300
固定資産賃貸料	2,846	3,157
その他	2,600	5,451
営業外収益合計	40,320	50,352
営業外費用		
支払利息	6,588	6,981
鉱山残務整理費用	3,283	3,032
その他	5,897	6,560
営業外費用合計	15,769	16,574
経常利益	56,847	61,157
特別利益		
投資有価証券売却益	1,819	2,214
持分変動利益	7,649	—
その他	259	832
特別利益合計	9,727	3,047
特別損失		
減損損失	120	3,837
特別退職金	444	2,440
事業撤退損失	560	346
支払補償金	743	—
その他	539	3,007
特別損失合計	2,408	9,631
税金等調整前四半期純利益	64,166	54,572
法人税等	9,667	12,799
四半期純利益	54,499	41,772
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,325	5,385
親会社株主に帰属する四半期純利益	49,173	36,387

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	54,499	41,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△985	1,970
繰延ヘッジ損益	△4,078	△28
為替換算調整勘定	6,890	12,023
退職給付に係る調整額	△352	370
持分法適用会社に対する持分相当額	1,490	2,511
その他の包括利益合計	2,963	16,847
四半期包括利益	57,462	58,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,839	52,775
非支配株主に係る四半期包括利益	7,623	5,845

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他の事業	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	金属事業	高機能製品	加工事業	再生可能エネルギー事業				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	910,686	371,571	107,278	6,396	87,761	1,483,695	—	1,483,695
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	184,372	13,943	3,699	0	25,552	227,567	△227,567	—
計	1,095,058	385,515	110,978	6,397	113,313	1,711,262	△227,567	1,483,695
セグメント利益	41,823	811	6,735	2,243	14,843	66,456	△9,609	56,847

(注) 1. その他の事業には、セメント関連、エンジニアリング関連等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△9,609百万円には、セグメント間取引消去△1,737百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△7,871百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、基礎的試験研究費及び金融収支であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他の事業	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	金属事業	高機能製品	加工事業	再生可能エネルギー事業				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	642,092	400,972	162,529	4,244	74,641	1,284,480	—	1,284,480
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	212,727	13,374	3,160	3	26,798	256,064	△256,064	—
計	854,820	414,347	165,690	4,248	101,439	1,540,544	△256,064	1,284,480
セグメント利益又は損失(△)	34,691	9,418	9,078	△478	12,888	65,597	△4,440	61,157

(注) 1. その他の事業には、セメント関連、エンジニアリング関連等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,440百万円にはセグメント間取引消去2,152百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,593百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、基礎的試験研究費及び金融収支であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「金属事業」及び「加工事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「金属事業」3,112百万円、「加工事業」724百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

2024年12月17日に行われた当社の連結子会社である三菱マテリアルヨーロッパ社とエイチ・シー・スタルク・ホールディング社による企業結合について、前連結会計年度に暫定的な会計処理を行っていましたが、中間連結会計期間に確定しております。これにより、「加工事業」セグメントにおけるのれんが減少しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	34,634百万円	34,645百万円
のれんの償却額	1,346	1,106